

2021年6月15日

当院をご利用の皆様

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

座間総合病院

病院長 渡 潤

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する 当院の取り組みとお願い（第2報）

当院では引き続き、みなさまが安心して受診いただけますよう、下記の対策を継続してまいります。

◆総合案内での発熱者対応

当院では正面入口にサーモグラフィーシステムを設置しております。

ご入館いただくすべての方の体温を測定しており、総合案内カウンター脇に設置しているモニターを見ていただくと、ご自分の熱が何度あるのかわかるようになっております。

発熱が37.0℃以上ある場合、必ず総合案内にお申し出くださいますよう、お願いしております。

小児は37.5℃以上の場合、お申し出ください。

発熱がある方は「発熱外来」での診察となりますが、発熱外来は枠に限りがありますため、当日の診察が受けられなくなる場合もあります。

必ず事前に熱を測ってからのご来院をお願いいたします。



お申し出のご協力をお願いします

◆ 職員の体調管理・感染防止対策

当院では、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、職員向けに新型コロナワクチン接種を下記の通り実施しました。

1 回目接種：4 月 26 日(月)～

2 回目接種：5 月 17 日(月)～

これにより、全職員のうち 93%にあたる約 500 名の職員への接種が終了しております。

(厚生労働省ホームページ「上手な医療のかかり方.jp」

<https://kakarikata.mhlw.go.jp/corona/index.html> もご参照ください。)

職員は毎日体温測定を行うなどの体調管理を行っており、体調不良や発熱の際には出勤しないようにしています。

勤務時にはマスク・ゴーグル（眼鏡）など感染防護具の着用を徹底しています。また、患者さん対応ごとに手指消毒を行い、特に患者さんと接触頻度の多い医療スタッフ（看護、リハビリスタッフ）は、手指消毒剤を携帯して手指衛生に努めています。職員食堂や会議室は距離を取った上で利用し、職員間での感染防止を心がけています。

◆ 清掃

診察室、検査室、受付など、接触頻度の高い場所（ドアノブ、手すり、タッチパネル等）の清掃を強化しています。患者さんに使用する医療機器も使用した後は、全て拭きとり掃除を実施しています。

◆ 入院・リハビリ患者さんへ

入院患者さん用のトイレ・病室に手指消毒剤を設置し、ご利用できるようにしております。リハビリ室では人数制限や距離を開けるなど、患者さん同士が「密」にならないように対策をしています。リハビリ器具やリハビリ用ベッドも患者さんがご利用後ごとに毎回清掃しています。

◆ 面会について

面会についての最新状況は、別途、HP等で確認ください。

◆新型コロナウイルス陽性患者の対応

当院は感染症指定病院ではなく、新型コロナウイルスの陽性患者さんの受け入れ、治療は行っておりません。院内で陽性の患者さんが発見された場合は、速やかに転院等の手続きを行います。

また、陽性患者さん専用の受け入れ先として、当法人では、関連施設の海老名総合病院が＜東館＞を設置いたしました。

＜東館＞は、海老名総合病院の＜本館＞と切り分けて医療を提供しております。

*海老名総合病院＜本館＞および＜東館＞についての情報は、

海老名総合病院のホームページをご参照ください。

<http://ebina.jinai.jp/about/>

◆皆様へお願い

過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう場合があります。

適切に医療機関に受診いただけますようお願いいたします。

その他、ご不明な点や不安な事がありましたら下記までお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

座間総合病院 046-251-1311（代表）